

教 職 員 活 用 ガ イ ド

小学生向け交通安全教育 DVD

危険を自分で考え、自分の運転を振り返る



JA共済
<http://www.ja-kyosai.or.jp>

本ガイド・DVDはホームページからも
ダウンロードできます。

JA共済は「安心」と「信頼」で地域をつなぎます。

JA共済は地域貢献活動を通じて、地域の皆さまが安心して暮らせる豊かな環境づくりを目指しています。これからも人と人が助け合う相互扶助の精神のもと、「交通安全」や「健康・福祉」など、生活に関わる幅広い活動を通じて地域社会に貢献していきたいと考えています。

全国共済農業協同組合連合会

監修：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会



自転車
発展編
(5・6年生向け)

JA共済

はじめに

本DVDは、小学校高学年の児童を対象とした、交通社会の一員として自転車を利用する際に必要な交通ルールや心構えを学習するための教材です。親しみやすいキャラクターがナビゲーターとして、危険行為が招く悲惨な事故や、安全を守るための適切な行動を伝えます。小学生の交通安全教育のために、授業や朝の会、授業参観などでご活用ください。



DVD収録内容および本ガイド、おさらいシートはホームページからもダウンロードできます。

ダウンロードはこちら ▶▶▶ <http://www.ja-kyosai.or.jp>

H24.6月



本編のナビゲーター
子供探偵

DVD INDEX

Chapter	内容	時間
Chapter 1	ドラマ/運命の交差点	約4分
Chapter 2	危険予測/この時、どんな危険が?	約4分30秒
Chapter 3	実験/速さによって変わる自転車・車の動き	約4分
Chapter 4	実験/点検/ヘルメットと自転車点検	約3分30秒
Chapter 5	危険な運転/ルールとマナーを守って安全運転	約4分30秒
Chapter 6	推理クイズ/この事故はどうして起きた?	約3分30秒
Chapter 7	まとめ	約2分30秒

指導のシーンに応じた本教材の活用例

本DVDは全7編に分かれており、コピーしてご使用いただける専用のおさらいシート(別紙)を添付しています。1時間単位の授業のほか、朝の会など短い時間でも活用することが可能な仕様となっていますので、下記活用の例をご参照のうえ、授業のご都合に合わせてご利用ください。



授業での活用例

小学生は集中力の持続時間が短いため、2回に分けての活用をおすすめします。1回ごとに、DVDのポイント伝え、ディスカッションや質疑応答の時間を設けましょう。

1回目

約12分
30秒

DVD視聴

Chapter 1

Chapter 3

自転車運転中の不注意で起こした事故が被害者や家族に多大な迷惑をかけること、意識せずに行っている危険な運転、自転車や車の動きなど、交通社会の一員として安全に走行するためのポイントを伝えます。

約15分

ディスカッション

DVDの内容をもとに、児童が自発的に行動を振り返り、危険行為の反省を促すとともに、安全を守るためにできることを発表する場を設けましょう。

約12分

まとめと補足

DVDの要点(P5~6参照)を伝えます。特に多く見られる危険行為、その行為が招く結果を丁寧に教えましょう。

2回目

約14分

DVD視聴

Chapter 4

Chapter 7

自転車点検のポイントや安全な乗り方、思いやり運転など、知識と交通ルールを学習します。1回目の授業から1週間以内には視聴し、視聴前に前回の振り返りをしましょう。

約10分

おさらいシート学習

前回の復習も兼ねて、おさらいシート学習を行います。

約15分

まとめと補足

児童の答えを挙手などで確認し、各設問の解答を正確に伝えます。誤答が多い設問は重点的に指導し、おさらいシートは持ち帰って保護者といっしょに確認するよう促しましょう。

朝の会での活用例

短い時間を活用して、DVD視聴4回、おさらいシート学習1回など、1週間かけて行う学習方法です。毎回、前回の振り返りとまとめは必ず行いましょう。

月

Chapter 1

Chapter 2

危険な走行が招く悲惨な結果、各交通場面に潜む危険についての認識を高めます。

火

Chapter 3

Chapter 4

自転車の動き(急ブレーキ、カーブ走行)、車の動き(ブレーキ)に対する理解を深めるとともに、点検のポイントを指導します。

水

Chapter 5

自転車の危険な運転と安全運転、思いやり運転について理解を深めます。

木

Chapter 6

Chapter 7

推理クイズ形式で自転車走行中の危険を伝えます。また、自転車安全利用五則を示しながらまとめを行います。視聴後に必ず補足説明を行います。

金

おさらいシート学習

おさらいシート学習を5分行い、残り5分で児童の答えを挙手などで確認、指導します。

授業参観での活用例

普段の生活においても重要度の高い交通ルールを、親子で相互確認できる絶好の機会です。DVD視聴、おさらいシート学習に加え、保護者の方にも正しい自転車利用について理解を深めましょう。

約26分

DVD視聴

Chapter 1

Chapter 7

DVD全編を通して視聴します。長時間になるので、児童の飽き、理解不足を感じた時は、その都度、簡単な補足説明をしてください。危険行為が招く結果と、取るべき行動を正確に伝えることが指導のポイントです。

約10分

おさらいシート学習

おさらいシート学習を行い、挙手などでみんなで答え合わせをしましょう。

約10分

親子ディスカッション

先生が重要事項のまとめを解説し、おさらいシートをもとに、危険行為の反省、安全を守るためにできることなどをディスカッションしましょう。おさらいシート裏面を参照し、保護者の方にも家庭での指導をお願いしてください。

安全を守るための正しい自転車走行

自転車は車の仲間です。危険な運転をすることで自分がケガをするばかりか、他人を傷つけてしまうこともあります。交通事故の原因となる危険な運転を解説し、安全を守るためのポイントを指導してください。



1 乗る前の点検項目

ぶ ブレーキ	● 左右のブレーキはよく効くか
た タイヤ	● タイヤを押し、空気が十分に入っているか ● 溝はすり減っていないか
は ハンドル	● 曲がっていないか
しゃ 車体	● サドルは足の裏の半分が軽く地面につく高さか ● ライトは点灯するか ● チェーンはチェーンカバーに当たっていないか ● 反射器材は汚れていたり、壊れていたりしないか
べる ベル	● 音がきちんと鳴るか、また、鳴らしやすい位置に付いているか

自転車に不具合があると、正しく利用していても事故を起こしてしまう可能性が高まります。乗る前に必ず、「ぶ・た・は・しゃ・べる」の点検を行い、不具合がある場合は、右のマークのある自転車安全整備店で整備を受けるように指導してください。



ヘルメットも忘れずに
万一の事故の際、ヘルメットは頭へのダメージを大幅に減らす大切なものなので、正しい着用を徹底するよう呼びかけましょう。

2 安全な走り方

発進と停止

道路の左端で自転車の左側からまたがり、後ろと前の安全を確かめてから発進します。停止する時は、安全を確かめて十分にスピードを落とします。そして左足を地面につけて道路の左端に停止し、自転車の左側へ降ります。



正しい通行法

自転車は車道の左端を走ります。複数人で走行する時は、縦一列になって自転車2台分くらいの間隔をあけて走行します。

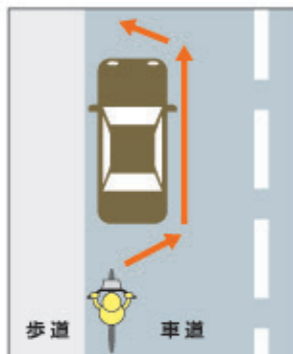


歩道を走る時

自転車は車の仲間ですが、13歳未満の児童は歩道を走ることができます。ただし、歩行者がいる場合は一度止まるか、自転車から降りて歩いて歩きます。

4 駐停車中の車の側方通行の仕方

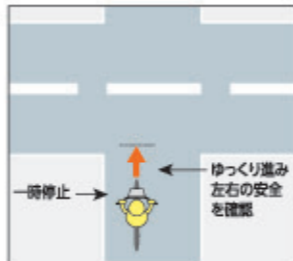
前方に止まっている車があり、車の横を通行する場合があります。止まっている車の後ろで一度止まり、前方が見える位置までゆっくり進み、前後の確認をしてから通行します。急にドアが開いたり、小さい子が飛び出してくる場合もあるので、止まっている車の横を走行する時はスピードを落とすように指導しましょう。



3 横断の注意点

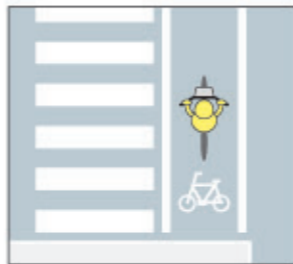
交差点では

狭い道から広い道に出る時は、一度止まり、広い道の左右が見渡せる位置までゆっくり進みます。そして、左右の安全が確認できてから通りましょう。走行中に狭い道が見えたら減速し、飛び出しに備えることも大切です。



横断歩道では

青信号が点滅している時は次の青信号まで待ちます。信号機のない交差点では左右をよく見て安全が確認できてから進みましょう。自転車横断帯がある時は、自転車横断帯を通るように指導しましょう。



注意を促すべきポイント

一時不停止
小学生に多い事故原因です。Chapter1に登場する翔太君も一時不停止が原因で悲惨な事故を起こしています。
スピードの出しすぎ
危険を察知した時に急に止まれず、事故を誘発します。急がず安全に運転することを心がけ、友達と競争するなどは厳禁です。
並進
後方からの車が自転車の動きを予測できず、衝突する危険があります。

無灯火運転
小学生の交通事故の多くは夕方起きています。薄暗くなったらライトを点灯して車に自転車の存在を伝えましょう。
駐輪する場所に気を付ける
指定場所以外への駐輪は歩行者や車の通行の妨げになり、事故を誘発します。さらに、点字ブロックの上などに駐輪すると、目の不自由な人がぶつかってしまう危険があります。

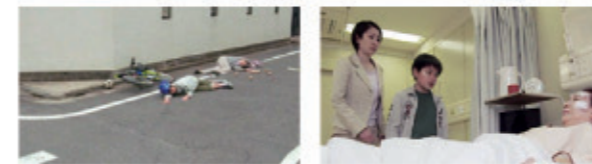
DVDの収録内容

DVD全編に収録されている内容を紹介します。児童に視聴前の案内をする際などに役立ててください。

Chapter 1 ドラマ 約4分

運命の交差点

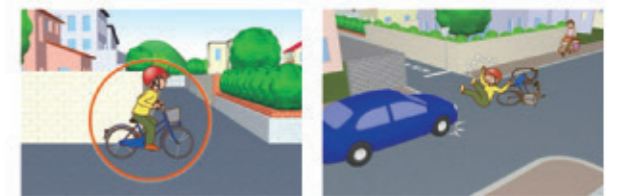
友達との約束の時間に遅れそうになり急いでいて、交差点を一時停止しなかったために事故を起こした、村上翔太君のショートストーリーです。自分が痛い思いをしただけでは済まず、ぶつかったおばあさんにケガをさせてしまい、両親にも迷惑をかけることになった翔太君の気持ちの理解から、安全運転の重要性を伝えます。



Chapter 2 危険予測 約4分30秒

この時、どんな危険が?

子供探偵の危険予測アイテム「キケンカメラ」を使って、道路状況に応じた危険を確認するチャプターです。狭い道から広い道に出る交差点、止まっている車付近、狭い道のある場所を取り上げ、そこに潜む危険性と安全運転の仕方を紹介します。



Chapter 3 実験 約4分

速さによって変わる自転車・車の動き

自転車で急ブレーキをかけた時やスピードを出して角を曲がった時の危険を伝えるチャプターです。実験を行い、いかに危険であるかを映像で見せるほか、車が急ブレーキをかけた時の実験映像を見せて、すぐに止まれないことを伝えます。



Chapter 4 実験/点検 約3分30秒

ヘルメットと自転車点検

ダミー人形を用いたヘルメット着脱時の比較実験を行い、ヘルメット着用の大切さを理解させます。また、自転車点検のポイント「ぶ・た・は・しゃ・べる」を紹介し、チェックポイントと点検の重要性を伝えます。



Chapter 5 危険な運転 約4分30秒

ルールとマナーを守って安全運転

並進、無理な横断、無灯火運転など、小学生に多く見られる危険行為を取り上げ、その危険性と安全運転の仕方について理解を深めさせます。また、歩行者などに対する思いやり運転にも触れ、交通社会の一員として大切な心を育みます。



Chapter 6 推理クイズ 約3分30秒

この事故はどうして起きた?

自転車で行走中の交通事故に対する注意を、推理クイズを用いて促します。走行中の安全確認を徹底させます。



Chapter 7 約2分30秒

まとめ

自転車安全利用五則を伝え、まとめとします。



ひとめでわかる! チャプターのポイント 児童に 正しく伝えるためのポイント

各チャプターの大切なポイントをまとめて紹介します。映像を見ながらの確認用として、また、見終わった後の復習用としてご活用ください。



Chapter 1

ドラマ

運命の交差点



- ささいな不注意が被害者や家族にとって取り返しのつかない事態を引き起こしてしまうこと
- 小学生が事故を起こした場合、保護者に被害者の入院費や賠償金を支払う責任があること



Chapter 4

実験/点検



ヘルメットと自転車点検



□ 実験「ダミー人形を使った実験映像」
実験内容

ヘルメットをかぶった人形を乗せた自転車と、ヘルメットなしの人形を乗せた自転車がそれぞれ倒れた場合を比較します。

▶ 結果

ヘルメットをかぶっていない人形の頭がへこんでしまいます。

解説

実験結果のように、転倒した場合、頭に受ける衝撃を和らげてくれるため、自転車に乗る時は必ずヘルメットをかぶるように指導しましょう。また、あご紐を緩めていると、簡単に脱げてしまうため、あご紐をきちんと締めておく必要があることも伝えてください。

□ 自転車のどこを点検すればいいのかわかる合言葉「ぶ・た・は・しゃ・べる」を覚えましょう

ぶ ブレーキ…

左右のブレーキがきちんと効くか確かめます。

た タイヤ…

タイヤの空気が抜けていないか、タイヤに傷がないか、すり減っていないか。また、スポークが壊れていたり、抜けていたりしないかを確認します。

は ハンドル…

ハンドルを上から見て、曲がったり、歪んだりしていないかを確認します。

しゃ 車体…

サドルは乗った時、足の裏の半分が軽く地面につく高さにします。チェーンは回してみ、チェーンカバーに当たらないか、ライトは点くか、そして、反射器材が壊れていたり、汚れていないかも確認します。

べる ベル…

ベルを鳴らし、きちんと音が出ることを確かめます。

Chapter 5

危険な運転

ルールとマナーを守って安全運転



□ 友達といっしょに自転車で走る時は、横に並ばず、縦一列になって走る

解説

自転車を運転中、ふざけたりして友達と横に並んで運転していると、後ろから来る車と衝突する危険があります。友達といっしょに走る時は、縦一列になって、自転車2台分くらいの間隔をあけて走ります。

□ 交差点では、無理な横断をせず、横断歩道を正しく渡る

解説

「青信号が点滅しているから」「急いでいたから」と無理な横断をすると、走ってくる車と接触する危険があります。横断歩道がある所では、速回りと感じても、必ず横断歩道を渡るように指導しましょう。

□ 外が暗くなってきたら、早めにライトを点ける

解説

外が暗くなると車を運転する人から自転車が走っていることが確認しにくくなるため、危険です。早めにライトを点けること、前輪と後輪に反射材を付けることが大切です。また、ライトがきちんと点くかどうか、常に点検する必要があります。

□ 歩道を守る時は、車道寄りをゆっくり走り、歩行者がいたら一度止まるか、自転車から降りて押して歩く

解説

歩道は歩行者優先。スピードを出すと歩行者にぶつかる危険があります。また、歩行者に向かってベルを鳴らしてはいけません。ベルは緊急の時に自転車の存在を知らせるためのものです。

□ 点字ブロックの上には自転車をとめず、決められた場所にとめる

解説

街で見かける黄色いブロックは「点字ブロック」といい、目が不自由な人が安全に歩くために必要なものです。点字ブロックの上に自転車をとめると、目の不自由な人が歩いてきた時にぶつかってしまいます。自転車は決められた場所にとめるように指導してください。



Chapter 1 (約4分)

Chapter 2 (約4分30秒)

Chapter 3 (約4分)

Chapter 4 (約3分30秒)

Chapter 5 (約4分30秒)

Chapter 6 (約3分30秒)

Chapter 7 (約2分30秒)

Chapter 2

危険予測

この時、どんな危険が?



□ 一時停止の標識がある見通しの悪い交差点で、狭い道から広い道に出ようとしている時に考えられる危険とは?

一時停止しないで通行すると、走ってくる車やバイクと衝突する危険があります。また、歩行者や自転車にぶつかり、相手をケガさせてしまう危険があります。必ず、停止線の手前で一時停止し、左右の状況が見渡せる所までゆっくり進んで、前後左右の安全確認をしてから通行します。

□ 前方に車が止まっていてその車の横を通行しなければならない時、急に車の右側に出ると、どんな危険が考えられる?

後ろや前から来た車やバイクと衝突する危険が考えられます。止まっている車の後ろで一度止まり、前方が見える所までゆっくり進み、前後の安全を確認してから通行しましょう。急にドアが開いたり、小さい子が飛び出してくる可能性もあります。車の横を通行する時はスピードを落とす通行します。

□ 前方に狭い道がある所をそのまま進んでいくと、どんな危険が考えられる?

狭い道から子どもや自転車、バイクが飛び出してくる危険があります。狭い道の手前からスピードを落とす、飛び出してくる人や自転車、バイクがないことを確かめながら進みます。

Chapter 3

実験

速さによって変わる自転車・車の動き



- スピードを出して走っている時、前後両方のブレーキをかけても急に止まることができない
- スピードを出して走っている時、ハンドルの右側にある前ブレーキだけをかけると前のめりになり、転倒する危険がある
- スピードを出して走っている時、後ろのブレーキだけをかけると後ろのタイヤが滑り、転倒する危険がある
- 自転車で角を曲がる時、スピードを出していると大きく膨らんでしまう
- 走っている車は急ブレーキをかけてもすぐには止まらない

Chapter 6

推理クイズ

この事故はどうして起きた?



□ 前方に車が止まっていてその車の横を通行しなければならない時は、止まっている車の後ろで一度止まり、前方が見える所までゆっくり進み、前後の安全を確認してから通行する



Chapter 7

まとめ



- 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 車道は左側を通行
- 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 安全ルールを守る
 - 飲酒運転は禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 二人乗りは禁止
 - 信号を守る
 - 並進は禁止
 - 交差点での一時停止と安全確認
- 子どもはヘルメットを着用

